

# 地域懇談会ニューズレター

福島県会津若松建設事務所では、住民の皆様の御意見を参考として、都市計画道路藤室鍛冶屋敷線の事業計画の検討を進めております。今年度も引き続き懇談会を開催し、J R只見線との交差方法について意見交換するとともに、三角屋交差点側の道路整備を先行して進めていくことを説明しました。

## 平成27年度地域懇談会の開催概要

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
日時	11月17日(火) 18:30～	11月19日(木) 18:30～	11月24日(火) 18:30～	11月25日(水) 18:30～	11月27日(金) 18:30～
地区	城西(西側②)	城西(西側③)	城西(東側)	城西(西側①)	謹教・日新
場所	鍛冶屋敷集会所	カネコフーズ2F	御旗町会館	柳原町内会館	緑町町内会館
参加者	15名	4名	38名	39名	25名
町内会	鍛冶屋敷 深川	深川北	片柳町上之区 片柳町中之区 片柳町下之区 日吉町 鈴懸町 材木町一丁目 川原町一丁目	柳原	西栄町二丁目 中川原町 新横町新丁区 新横町烏橋区 新横町横丁 融通寺町 緑町

<議題> ① J R只見線との交差点の形状（立体交差または平面交差）について  
② 三角屋交差点から市道若3-291間の道路計画について

## ① J R只見線との交差点の形状（立体交差または平面交差）について

これまでの経過について説明しました。

### ●平成25年度懇談会 【5地区で開催】

- ◆懇談会を開催し、都市計画決定ルートで計画を進めたい旨説明しました。
- ◆J R只見線との交差方法について、都市計画決定通りの立体交差ではなく、踏切構造の平面交差を望む意見が出されました。
- ◆平面交差が技術的に可能かを検討するために、測量等を実施することを説明しました。

### ●平成26年度懇談会 【謹教・日新地区と城西東側地区の2地区で開催】

- ◆J R只見線との交差方法により直接影響を受ける謹教・日新地区と城西東側地区の2地区で開催し、測量・設計を行った結果、平面交差が技術的に可能であることを説明しました。
- ◆平面交差と立体交差の2案を提示し、それぞれのメリット・デメリットについて説明しました。
  - ・走行性は立体交差が有利
  - ・沿線にお住まいの方の利便性、沿道環境、経済性については平面交差が有利

### ●平成27年度懇談会 【5地区で開催】

- ◆今後、住民の皆様と意見交換を重ねながら、関係機関との協議を進めていくことを説明しました。

## ② 三角屋交差点から市道若3-291間の道路計画について

### ●三角屋交差点の現状と課題

- ◆三角屋交差点は、県道会津若松三島線や市道との変則交差点で、通行ルートが煩雑なことや、信号が変則表示となっていること等が原因で、朝夕の渋滞がひどい状況です。
- ◆冬期は、除雪した雪で道が狭くなり、車のすれ違いに支障が生じています。
- ◆歩道が連続していないため、歩行者及び自転車の動線確保が課題となっています。
- ◆会津若松市で三角屋交差点の東側（竹田病院側）の道路整備を進めており、市の道路が完成し三角屋交差点に流入する車が増加すると、混雑がさらに悪化することが懸念されます。

竹田病院前の道路整備状況



三角屋交差点の渋滞状況



会津若松三島線の交通状況

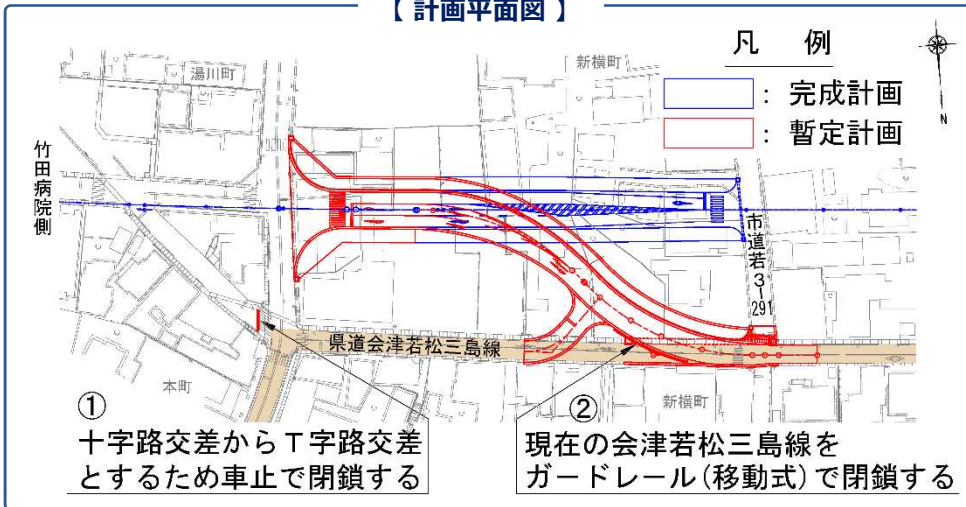


## ●三角屋交差点から市道若3-291間の整備計画について

三角屋交差点には上記のような課題があり、また、これまでの地域懇談会においても渋滞解消を望む意見が多かったため、三角屋交差点から市道若3-291間についての道路整備を先行して進め、混雑の緩和を図ることとしました。

都市計画のルートでは、竹田病院側から市道若3-291まで直線的に接続させる計画（図面青のライン）となっておりますが、その計画で整備をすると、クランク形状の交差点となり、また、市道との交差部と県道会津若松三島線との交差部の2箇所を信号で制御するようになるなど、混雑解消の効果が薄れてしまうことが考えられます。

### 【計画平面図】



そこで、当面の対応としては、通行車輛のスムーズな動線を確保するため、三角屋交差点から県道会津若松三島線にS字状に接続させる計画（図面赤のライン）で道路整備を進め混雑解消を図ることとしました。

また、交通管理者である警察との協議により、道路が完成した場合には通行方法の煩雑さから発生する交通事故を未然に防止するため、2箇所を塞ぎ、通り抜けができない形状とします。

（左記計画平面図参照）

## ●今後の予定

平成28年度から本格的に事業に取り組み、平成32年度頃までに整備を進める予定です。なお、並行してJRとの交差方法について住民の皆様との合意形成を図り、上記工区完了後、継続して事業に取り組み、意見交換を重ねてまいります。

- ◆平成28～31年度頃 土地の買収と建物等の補償
- ◆平成31～32年度頃 道路整備工事

## 皆さまより頂いた御意見・御質問 【地域懇談会での主な意見】

### ●城西地区(西側②)11月17日(火) 鍛冶屋敷集会所にて開催

- ◆平面交差にするか立体交差にするかの整備方針は、いつまでに決まるのか？  
→ 三角屋交差点から市道若3-291までの道路整備を平成32年度までに終える予定です。それまでに整備方針を決め、その後の道路整備をスムーズに進めたいと考えています。
- ◆平面交差と立体交差を比較した場合、どちらの方が工期が短くて済むのか？  
→ 平面にした方が短くて済みます。また、立体の方が多額の費用がかかるので、その分の予算を確保する必要が生じます。
- ◆今回の計画で歩道は付くのか？  
→ 平面、立体のどちらの場合も歩道は付きます。
- ◆立体にすると高齢者が利用しにくい道路になる。「人にやさしい道づくり」で進めてほしい。



### ●城西地区(西側③)11月19日(木) カネコフーズ2Fにて開催

- ◆三角屋交差点から市道若3-291間の整備は5年で完成できるのか？  
→ 国からも予算をいただいて整備を進めるので、予算の状況によっては遅れる可能性もありますが、5年程度で終える計画です。
- ◆三角屋交差点から市道若3-291間を整備するにあたり、用地買収は大丈夫なのか？  
→ 平成31年度頃までに土地の買収と建物等の補償を終えたいと考えています。
- ◆朝の通勤時に天神橋が渋滞するので、西バイパスが早く完成すると良い。  
→ 平成28年度中には県道橋本会津高田線までの区間が完成する予定です。完成すると交通量がかなり分散されて、交通がスムーズになると思います。



## ●城西地区(東側)11月24日(火) 御旗町会館にて開催

- ◆県としては、平面交差と立体交差のどちらで進めたいと考えているのか？  
→ 地元の平面交差を望む御意見を踏まえながら、関係機関と協議検討を進めてまいりたいと考えています。
- ◆平面計画に決定した場合、融雪施設や横断歩道の設置等、地元の要望を計画に反映してもらえるのか？  
→ 懇談会を開催し、地域の皆様と意見交換をしながら計画を決めていきます。融雪設備については、皆様の意見を踏まえつつ、市と協議をして融雪にするのか除雪で対応するのかを決めていきますが、計画道路は幅が広いので、除雪対応が基本です。



## ●城西地区(西側①)11月25日(水) 柳原町内会館にて開催

- ◆都市計画道路全線2.1km区間が完成するまで、何年くらいかかるのか？  
→ 現時点では全く不明ですが、参考までに国道118号の事例で、神明通りから鶴ヶ城のお堀の所まで約1kmを整備するのに20年程、お堀の先から会津高校まで約500mについても10年程かかりました。単純計算だと、2.1kmを整備するためには、40年以上かかることとなります。



## ●謹教・日新地区11月27日(金) 緑町町内会館にて開催

- ◆暫定的に三角屋交差点から県道会津若松三島線に擦り付ける道路を造るのは、費用の無駄遣いなのか？  
→ 市道若3-291より西側の方針が決まって道路整備を進めていった場合、その道路が大きな道路と接続するまで相当の期間を要し、それまではこの暫定的な道路を通行するようになるので、無駄とは考えません。
- ◆新横町踏切で事故が起きたことはなく、事故の記録等も調査したほうが良い。  
→ 事故の履歴等を確認します。また、踏切の利用者である皆様の意見についても整理します。



これからも事業の進捗状況に応じて懇談会を開催し、住民の皆様と意見交換を重ねながら道路計画を進めていきます。  
今後とも御協力を御願いたします。

### 御意見・お問い合わせは

福島県会津若松建設事務所  
会津若松市役所

企画調査課  
都市計画課

電話 0242-29-5455  
電話 0242-39-1261